

# 山口大学医学部附属病院または本研究の共同研究機関で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	胸部 CT 検査による、門脈圧亢進症に伴う肺動脈性肺高血圧症の拾い上げに関する前方視的研究		
② 実施予定期間	実施許可日 から 2030 年 3 月 31 日		
③ 対象患者	対象期間中に当院で門脈圧亢進症に対する診療の中で胸部 CT 検査を受けられた 18 歳以上の患者さん（CT 検査時の年齢）		
④ 対象期間	実施許可日から 2028 年 3 月 31 日 （なお、後述の「肺動脈性肺高血圧症疑いの指標」に合致する患者さんでは、2029 年 3 月 31 日までを追跡期間とします。）		
⑤ 研究機関の名称	別添参照		
⑥ 対象診療科	第一内科		
⑦ 研究責任者	氏名	石川 剛	所属 第一内科
⑧ 使用する情報等	患者さんの性別、生年月、門脈圧亢進症（おもに肝硬変）の原因、日常診療で過去6か月以内に撮像された胸部CT所見（肺動脈主幹部および上行大動脈の直径）、胸部CT撮影時のChild-Pughスコア（血清アルブミン値、総ビリルビン値、腹水の程度、肝性脳症の程度、プロトロンビン活性から算出される肝予備能の値）を診療録から情報収集します。		
⑨ 研究の概要	<p>門脈圧亢進症（主に肝硬変）の患者さんに対して、外来・入院等で定期的に血液検査や画像検査などが行われます。その稀な合併症である「肺動脈性肺高血圧症」の早期診断（拾い上げ）手法の確立を目的として、日常診療で過去6か月以内に撮像された胸部CTの画像から「肺動脈主幹部および上行大動脈の直径」を測定します。また⑧に記載した情報も診療録から収集します。過去に報告されている「肺動脈性肺高血圧症疑いの指標」に合致する患者さんに関しては、（同意取得後に）胸部CT撮像時から12か月間の（日常診療としての）血液検査・画像検査所見などの情報を収集し、山口大学医学部附属病院第一内科に情報収集して、門脈圧亢進症に伴う肺動脈性肺高血圧症の診断における胸部CTの有用性について検討します。</p> <p>一方、「肺動脈性肺高血圧症疑いの指標」に合致しない患者さんの⑧に記載した情報についても、山口大学医学部附属病院第一内科に収集して</p>		

	胸部 CT の有用性に関する調査を行います。		
⑩ 実施許可	研究の実施許可日	2024年2月1日	
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。		
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。		
⑭ 知的財産権	研究グループに帰属します。		
⑮ 研究の資金源	山口大学医学部附属病院第一内科の奨学寄付金を用います。		
⑯ 利益相反	ありません。		
⑰ 問い合わせ先・相談窓口	山口大学医学部附属病院 第一内科 担当者：石川 剛		
	電話	0836-22-2241	FAX 0836-22-2240

別添

研究組織

研究代表者：

山口大学大学院医学系研究科 消化器内科学 准教授 石川 剛

研究分担者：

山口大学医学部附属病院 第1内科 助教 西村 達朗

山口大学医学部附属病院 肝疾患センター 助教 佐々木 嶺

共同研究機関および研究責任者：

下関医療センター 消化器内科 加藤 彰

山口県立総合医療センター 消化器内科 木村輝昭

光市立光総合病院 消化器内科 谷川幸治

長門総合病院 内科 山口裕樹

関門医療センター 消化器内科 坂口栄樹

小郡第一総合病院 消化器内科 北瀬 彰

徳山中央病院 消化器内科 横山雄一郎

済生会山口総合病院 消化器内科 日高 勲

山口労災病院 消化器内科 浦田洋平

宇部興産中央病院 消化器内科 前田雅喜

済生会下関総合病院 消化器内科 花園忠相

新南陽市民病院 内科 松永一仁

小倉記念病院 消化器内科 相部祐希

周東総合病院 消化器内科 松浦桂司